

ペットとの 「同行避難」って知ってる？ あなたとペットは大丈夫？

災害時、飼い主はペットと一緒に避難することが「原則」です。
同行避難とはペットと安全な場所への避難行動を示す言葉であり、
避難所で人とペットが同じスペースで過ごすことを意味する言葉ではありません。



いざという時、
ほんとにできる!?

CHECK

災害はいつ発生するか分かりません。
災害時にペットを守るのは
飼い主だけです。心構えや日頃の
備えとしつけが大切です。

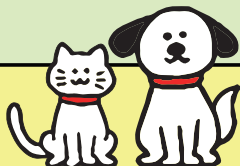
車内
移動



キャリー
ケージ



首輪
ハーネス



ペットを飼っていない方へ

過去の災害では、ペットを連れているという理由で
避難所に避難できなかった飼い主の方が、二次災害に遭うなどの事例も発生しています。
福井県内では犬だけでも約3万頭が登録されています。
皆さんが避難する避難所にも、ペットを連れた方が避難してくることが予想されます。
ご理解のほどよろしくお願いいたします。

福井県

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1
tel:0776-20-0354

福井県動物愛護センター

〒918-8165 福井市徳尾町18-1-1
tel:0776-38-2212

備えよう! ペットの災害対策

✓チェックをつけて見てみよう

住まいの災害対策

災害時にペットを守るためには、まず飼い主が無事であることが大前提です。住まいを災害に対して強くしておくことが、人とペットの安全にもつながります。

- 家具・飼育ケージの固定、転倒・落下防止

家族での話し合い

POINT




さまざまな場面を想定して、家族やご近所、飼い主仲間と話し合っておきましょう。

- 家族間の連絡方法や集合場所
- ペットの避難方法や役割分担
- 緊急時のペットの預け先の確保

情報収集と避難訓練


- 避難所等の確認(経路、所用時間)
- 避難訓練への参加
- 動物が苦手な人への配慮

しつけ

- ケージなどの中に入ることを嫌がらないように日頃から慣らしておく
- 人や他の動物を怖がったり攻撃的にならないように慣らしておく
- 「待て」「おいで」などの基本的なしつけ
- 不必要に吠えないようにしつける
- できる限り室内で飼育(放し飼いだと災害時に行方不明になることが多い)

健康管理


避難生活のストレスで体調を崩しやすくなります。

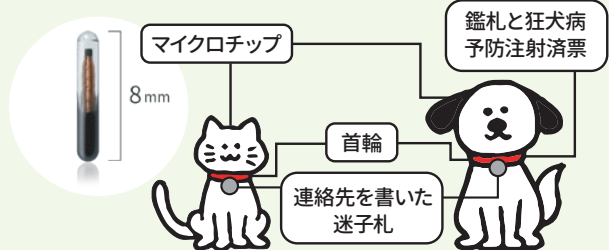
- ノミ・ダニなどの寄生虫の予防、駆除
- シャンプーやトリミングにより身体を清潔に保つ
- 不妊去勢手術の実施
- 各種ワクチンの接種
- 狂犬病予防注射の接種(義務)



飼い主明示~もしものときのために~

もしものときに、ペットと再会するために普段から身元を示すものを二重でつける対策をとりましょう。

- 飼い主の連絡先を記入した迷子札
- マイクロチップの装着と登録
- 鑑札、狂犬病予防注射済票(義務)



避難用品の準備

ペットの命や健康に関わるものを最優先に、ペットの避難用品を準備しましょう。

優先順位1 動物の健康や命にかかわるもの

- 療法食、薬
- エサ、水、食器(5日分以上)
- キャリーバッグやケージ
- 首輪やリード
- トイレ用品(ビニール袋、ペットシート、猫砂)

優先順位2 飼い主や動物の情報

- 飼い主の連絡先
- ペットの写真
- 健康記録(ワクチン接種状況、健康状態の情報)

優先順位3 ペット用品

- タオル、ブラシ、おもちゃ
- ガムテープ(ケージの補修、段ボールを利用した小屋作りなど、多用途に使用できます)
- 洗濯ネット(猫の屋外診療・保護に有用です)

同行避難について(動画)

仁愛大学人間学部心理学科と
県で協働制作しました



防災対策パンフ

詳しくは環境省の
ホームページにて

